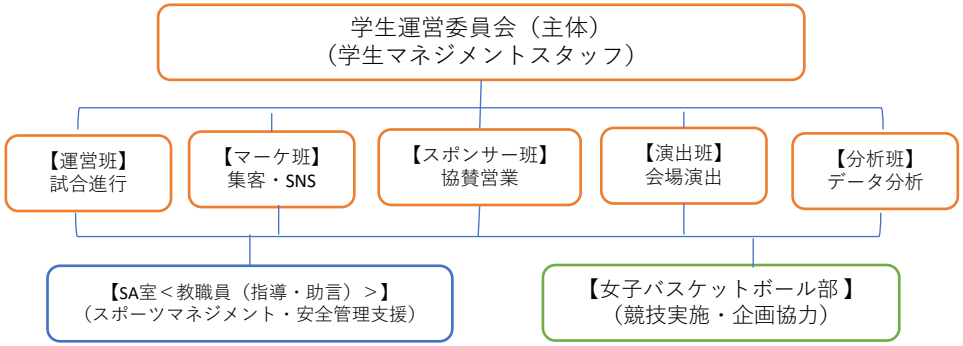
「令和8年度 大学スポーツ総合支援事業」企画提案書（事業概要資料）

①学生主体の運営向上事業［運営推進型］

大学名	鹿屋体育大学

実施計画名	Blue Winds学生マネジメントスタッフによる大学スポーツ・ホームゲーム運営ガイドライン構築事業
事業概要	本事業は、女子バスケットボールホームゲームを実践の場とし、学生が企画・広報・運営・評価までを主体的に担う運営体制を構築するとともに、その成果を再現可能な「Blue Windsホームゲーム運営ガイドライン」として体系化するものである。 学生主体の実践を通じて運営ノウハウの可視化・標準化を図り、他競技や他大学にも展開可能な大学スポーツ運営モデルの構築を目指す。 また、本事業では、学生の運営力向上を主軸に、来場者拡大と継続的なファン化の促進を図るとともに、外部資金の活用も見据えた持続可能な運営体制の確立を目標とする。

■学生を中心とした企画･運営委員会の概要



■「応援される大学スポーツ」に向けた施策

地域住民が大学スポーツに「応援する理由」を持てる環境を整え、大学スポーツを地域活性化に資する社会的資源として定着させる。

地域ブランドの構築	観戦機会の創出	大学施設の地域開放	学生による地域貢献活動の推進	地域連携による健康・スポーツ施策の推進
• 鹿屋市との地域密着ブランド「Blue Winds」を展開することで、大学スポーツを地域の象徴として可視化し、継続的な応援機運の醸成を図る。	• 大学施設において公式戦を実施し、地域住民が気軽に観戦・応援できる機会を創出することで、大学スポーツへの関心と参加を促進する。	• 学内施設を地域イベント等に開放し、学生スポーツを身近に体感できる場を提供することで、地域との接点拡大と親しみの醸成を図る。	• スポーツボランティアや指導者派遣を通じて、学生が地域で活動する機会を創出し、大学スポーツへの理解と支援の裾野を拡大する。	• 鹿屋市との共同宣言等を通じて、大学スポーツを地域の健康づくりや政策と結びつけ、地域と一体となった取組を推進する。

地域住民の「みる・ささえる・あつまる」機会が増加し、愛着と支援意識が醸成。
大学スポーツの認知・価値が向上し、地域と大学が一体となった持続的な支援体制の構築につながっている。

■主な参加者･想定人数

区分	内容	人数
企画･運営･当日運営	鹿屋体育大学学生マネジメントスタッフ･学生	25
運動部（指導･補助）	鹿屋体育大学運動部学生	10
参加者（運動部以外）	鹿屋体育大学大学院生、留学生ほか	10
参加者（運動部）	鹿屋体育大学女子バスケットボール部、日本経済大学女子バスケットボール部	50
参加者（その他）	地域･近隣住民ほか	400

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず関連する大学や団体等との連携体制も示すこと）

